



第20回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。

尚、今回は、記念すべき第20回セミナーということで、本セミナーのコーディネーターを務めて頂いております、坂田恒昭先生（塩野義製薬／大阪大学特任教授）と竹田潔先生（大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学教授）のお二人にご講演頂きます。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2019年6月25日（火）15:00～18:00

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム（G05）
（グランフロント大阪 タワーC 8階）

地図：<https://www.kc-space.jp/conference/items/towerC.pdf#jump>

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議・公益財団法人 都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 15:00-16:00

「ライフサイエンス・オープンイノベーションに対する私感」

大阪大学 サイバーメディアセンター 招聘教授 坂田 恒昭

製薬業界は現在、新規創薬ターゲットの枯渇および研究開発費の高騰による高薬価の問題等様々な問題を抱えている。

また、生活習慣病、がん、認知症などの高齢化社会に遭遇しての社会的問題が我が国を始め世界中で問題になっている。病気の治療はもとより病気の予防、進行を止めるための予防医療が大きく注目されている。

このような問題を解決するために幅広い技術の導入、またアカデミアおよびバイオベンチャーとの協業が要望されておりオープンイノベーションの重要性が盛んに言われている。

一方産学の意識の違いから数々の問題が生じている。本セミナーではこのような最近の動向を概説する。

講演Ⅱ 16:00-17:00

「炎症性腸疾患の病態解明をめざした腸管恒常性の維持機構の解析」

大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学免疫学

フロンティア研究センター 教授 竹田 潔

クローン病、潰瘍性大腸炎に代表される炎症性腸疾患は、近年我が国で患者数が急増している難治性の疾患である。腸管は他の組織と異なり、免疫系が非自己として認識し排除すべき腸内細菌が存在している。炎症性腸疾患は、免疫系の異常などの遺伝的素因に加えて、腸内細菌叢などの腸内環境因子の異常が複雑に絡み合い発症する疾患と考えられている。実際、健康な状態では腸内細菌が腸管の免疫系に直接晒されないようなメカニズムが存在している。私たちは、腸管の恒常性が維持されるメカニズムをマウスモデルおよびヒトの炎症性腸疾患も対象として解析してきた。本講演では、最近の研究成果について議論したい。

17:00-18:00 交流会・名刺交換会

申込先：参加希望者は2019年6月24日（月）までに、NPO法人近畿バイオホームページからお申込みください。ただし、定員（75名）に達し次第、締め切らせていただきます。

URL：<https://kinkibio.com/>

※これまでのように参加証の発行はございません。ご了承ください。

問合先：

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（梅村、松村、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）